

発刊のことば

国立西洋美術館は昭和34年6月に開館して以来、今年ですでに8年目を迎えます。その間、松方コレクションを中心とする西洋美術作品を常時展覧し、今日までに約400万に及ぶ来観者を迎え、わが国における西洋美術の普及紹介および美術教育の振興にいささかの役割りを果たして参りました。また昭和37年地方巡回展を組織して以来、毎年各地において直接当館所蔵の美術作品を鑑賞する機会をつくり、地方文化の向上に資することを心がけております。

さらに、毎年各国の政府や美術館との協力を得て、海外諸国より、得難い美術作品を各分野にわたって招来して一般公開して来ております。当館所蔵の美術品の拡充については、各年次にわたって適正な海外作品を購入し、或は所蔵家や作者の御好意による寄贈作品を受け漸次コレクションを充実しつつあります。昭和39年度には美術館の新增設として講堂や事務室を加えることが出来、美術館活動を一層助長させたのであります。

以上のような事業活動や調査研究について、その成果を報告するため、年報の公刊を開館当初より企てておりましたが、本年よりようやくこれが刊行の運びになったことを喜ぶ次第であります。年報は当館の常時展覧、特別展等の事業報告を中心とし、さらに西洋美術に関する調査研究の成果を公にする紀要の形をも兼ね備えたいと念願しております。今後、毎年の続刊において、内容の一層の充実を計り、美術館活動の発展と美術史的調査研究に対し、一層の努力を注ぎたいと考えている次第であります。

国立西洋美術館長

富永惣一